

また、熱中症を予防する目的で、1954年にアメリカで提案された「暑さ指数(WBGT)」という指標があります。単位は気温と同じ摂氏温度(℃)で示され、気温以外に人体の熱収支に大きな影響を与える湿度と放射熱を加味したものです。例えば、株式会社イー・アンド・ダイが販売している「みはりん坊W」という商品(写真参照)には温度・湿度に加えて熱中症指数が表示されており、危険を知らせるアラーム機能も備えています。先にも説明したように、特に高齢者ほど体感温度に頼るのは危険なため、こういった電子計測器を活用し、こまめに水分と塩分を補給すると良いでしょう(※日常生活及び運動に関する指針については図⑬⑭を参照)。



左写真：みはりん坊W

特集記事の一部を抜粋

地球温暖化で、ますます暑くなる日本の夏

猛暑でも 省エネかつ 快適に暮らす



冷房設備の歴史は浅い
まずは古来の家づくりを知る



『IECOCORO (イエココロ)』 23夏秋 2023年6月発行
発行元：株式会社 求人ジャーナル